

## 43 絆の駅 石巻ニューゼ

30人  
1時間程

電話 0225-98-7323  
メール newsee@hibishinbun.com  
https://hibishinbun.com/newsee/

石巻地方で100年以上夕刊を発行している石巻日日新聞社による震災伝承施設です。東日本大震災で新聞の印刷ができない状況でも、6日間、手書きの壁新聞を制作して避難所の人たちに地域情報を届けました。館内に展示している壁新聞(実物)や、当時の報道写真等を通して、災害時の情報の重要性や、信頼される情報のあり方などを伝えています。

■期間／通年 ■時間／11:00～16:00 ■料金／見学のみは無料、講話希望の場合は一般1,000円、大学生以下500円 ■休み／月曜、木曜(祝日の場合は翌日休館)、12月29日～1月3日 ■住所／石巻市中央2-8-2 ホシノボックスピア1階

## 44 みやぎ東日本大震災津波伝承館

40人程度  
(要相談)  
60～90分

電話 0225-98-8081 ※展示見学に関する事 0225-98-7401 ※公園利用に関する事  
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/miyagi-denshokan.html

リアルな津波の映像や被災者の証言により、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える映像をはじめ、県内の震災伝承施設や語り部活動を行なう団体等のほか、震災を契機に生まれた地域の復興に関する取組等を紹介するなど、被災の状況や津波から尊い命を守るための教訓等をパネルや映像を用いて伝えます。

■期間／通年 ■時間／9:00～17:00 ■料金／無料 ■休み／毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/4)。※ただし、毎月11日は曜日・祝日に関わらず開館。  
■住所／石巻市南浜町2丁目5-6 石巻南浜津波復興祈念公園内

## 45 みやぎ生協 東日本大震災 学習・資料室

20人程度  
30～40分

電話 022-374-8531  
https://www.miyagi.coop/

「東日本大震災」を決して忘れず、そしてみやぎ生協がこの震災に際し取り組んだことを伝えるために2013年に設置。被害状況を数値と写真で展示しています。生きるためにどう行動したかを伝えています。シアタールームを設置。震災以降のみやぎ生協の復旧・復興の歩みや、被災者支援の活動をまとめたビデオをご覧いただけます。

■期間／通年 ■時間／10:00～17:00 ■料金／無料  
■休み／館内展示施設:日・祝・年末年始・お盆  
■住所／仙台市泉区八乙女4-2-2

## 46 名取市震災復興伝承館

20人 56人  
(コロナ枠)  
(通常枠)  
20分

電話 022-393-6520  
メール info@natori-denshoukan.jp  
https://www.natori-denshoukan.jp/

東日本大震災の記憶と教訓を、世界各地そして後世に伝承し、震災を風化させることなく、防災意識を醸成していくことを目的とした施設です。震災以前の閑上の街のジオラマ、「復興へのあゆみ」の展示、自然災害や防災について学べる展示や水圧体感ドア、5分間の映像視聴など御覧いただけます。

■期間／通年 ■時間／(4月～11月)9:30～16:30、(12月～3月)10:00～16:00  
■料金／無料 ■休み／毎週火曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、12/29～1/3  
■住所／名取市閑上東1丁目1-1

## みやぎの 食文化体験

### 41 松島蒲鉾本舗 総本店2F「松かま工房」 魚のすり身から作る笹かまぼこ手作り体験

～24人  
約40分

電話 022-354-4016

http://www.matsukama.jp

～魚のすり身から作る笹かまぼこ手作り体験～

魚の匂い、すり身の触感を感じながら、具材を自由自在にトッピング。世界に一つ、オリジナル笹かまぼこ作りで思い出に残る体験を。

※3日前まで要予約。

～魚のすり身で作るかまぼこdeたこ焼き～

見た目は、たこ焼き、食べるとかまぼこの新感覚たこ焼き作りもっちり食感のたこ焼き風かまぼこは、ここでしか味わえないおいしさです。※3日前まで要予約。

■期間／通年 ■時間／10:30～15:30(時間相談可) ■料金／笹かまぼこ手作り体験:大人600円、小人300円(小学生以下は大人同伴) かまぼこdeたこ焼き:大人800円、小人400円(小学生以下は大人同伴) ■休み／なし ■住所／松島町松島宇町内120

### 42 松島蒲鉾本舗 多賀城工場

～40人  
約30分

電話 022-354-4016

http://www.matsukama.jp

もともとは塩竈に工場がありましたが東日本大震災で被災し、2016年6月に多賀城へ移転しました。工場では、見る(工場見学)、知る(蒲鉾作りの秘密が分かる)、作る(笹かま手焼き体験)、食べる(揚げたてが食べられる)、買うのお楽しみがいろいろあります。※笹かま手焼き体験は所要時間は10分です。

■期間／通年 ■時間／9:30～17:00(時間相談可) ■料金／笹かま手焼き体験:1本250円 ■休み／元旦のみ ■住所／多賀城市八幡一本柳3-5

### 43 海鮮せんべい塩竈株式会社

1回4名×4人  
15分

電話 022-363-5030

https://www.ebisen.com/

<海鮮せんべい作りの工程見学>原料づくりの工程は、パネルでの見学になりますが、安心で安全な美味しい海鮮せんべい作りの工程がわかる工場ラインの見学ができます。又、海鮮手焼き工房ではオリジナルの商品海鮮塩竈焼き、いかの姿焼きなどの工程も見学できます。海鮮せんべい塩竈の工場では、1日に約10万枚のおせんべいを焼いています。

■期間／通年 ■時間／9:00～17:00 ■料金／無料  
■休み／工場休業日 基本※土曜日、日曜日、お盆期間、年末年始  
■住所／塩竈市新浜町3-30-30

## みやぎの 自然体験

### 33 おきなくらEELS

メール info@o-eels.org  
https://o-eels.org/

予約サイト

三陸復興国立公園の石巻・登米・南三陸・女川の自然の中をフィールドに体験プログラムをおこなっています。ガイドたちは自然体験指導者(NEALリーダー)の資格をもち、トレーニングを重ねたメンバーです。豊かな自然をいかした、あそべる・学べるプログラムを展開し、このエリアの発展に貢献することを目的に活動しています。

■期間／シーカヤック:5/1～11/30、SUP:5/1～10/31、スノーケリング:6/1～10/31、みちのく潮風トレイル:通年 ■時間／マリンプログラム:午前の回10:00～/午後の回13:30～  
■料金／[シーカヤック・スノーケリング]小学生3,500円(税込) [SUP]中学生以上4,500円(税込) [みちのく潮風トレイル]ガイド1人につき3時間まで10,000円～、3時間以上15,000円～  
■休み／不定休※マリンプログラムは冬季の受入はありません。 ■住所／南三陸町倉倉坂本21-1

みやぎ  
感DO!  
プログラム

SDGs 探究学習特化型プログラムをはじめ、震災・防災・減災学習、食文化体験、自然体験の新たな施設・プログラムが生まれました。

# 宮城県 教育旅行

## 新プログラム差込版2022

### SDGs探究学習特化型プログラム

- |                       |   |                                     |
|-----------------------|---|-------------------------------------|
| 37 宮城県気仙沼向洋高等学校       | 42 仙台大学附属明成高等学校 食文化創志科 (塩竈市浦戸野々島白梁採種圃場) | 47 宮城教育大学防災教育研修機構 (311いのちを守る教育研修機構) |
| 38 特定非営利活動法人 海の自然史研究所 | 43 せんだい環境学習館 たまきさんサロン                   | 48 宮城大学太白キャンパス                      |
| 39 宮城県水産技術総合センター      | 44 仙台七夕まつり協賛会                           | 49 せんだい農業園芸センター みどりの杜               |
| 40 おしかホエールランド         | 45 八木山動物公園フジサキの杜                        | 50 宮城県農業高等学校                        |
| 41 さんみらい多賀城・復興団地      | 46 一般社団法人ReRoots                        | 51 有限会社 竹鶏ファーム                      |

### 震災・防災・減災学習

- |                   |          |                  |
|-------------------|----------|------------------|
| 41 命のらせん階段        | 42 高野会館  | 43 絆の駅 石巻ニューゼ    |
| 44 みやぎ東日本大震災津波伝承館 | 45 みやぎ生協 | 46 東日本大震災 学習・資料室 |
| 47 名取市震災復興伝承館     |          |                  |

### 食文化体験

- |   |                 |                 |
|---|-----------------|-----------------|
| 41 松島蒲鉾本舗 総本店2F 「松かま工房」 魚のすり身から作る笹かまぼこ手作り体験 | 42 松島蒲鉾本舗 多賀城工場 | 43 海鮮せんべい塩竈株式会社 |
| 44 自然体験                                     | 45 おきなくらEELS    |                 |

## SDGs探究学習特化型プログラム

●お問い合わせ・お申込みは  
みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター(みやぎ観光復興支援センター)  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1  
TEL 022-265-8722 FAX 022-211-2829 EMAIL m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

### 37 宮城県気仙沼向洋高等学校 命を守り抜く防災や自分たちだからできることについて学ぶ

受入可能人数 40人

所要時間 30～90分程度 (気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館)見学時間を除く)

防災教育に力を入れて取り組むと共に、令和2年KSC(向洋語り部クラブ)が発足し、震災を語り継ぐ、継承していく活動に取り組んでいます。KSCの生徒から当時の聴講や校舎見学をし、避難や防災の大切さ、地域の防災リーダーなどについて考え、防災などについて考え学びます。※伝承館の見学や語り部聴講とは別内容となりますので、見学や語り部申し込みについては別に伝承館まで問い合わせ下さい。

■受入可能期間／要相談(年始年末・3月・学校行事等がある場合は除く)  
■料金／無料(気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学・語り部聴講する場合伝承館まで直接問い合わせ) ■該当市町村／気仙沼市

### 39 宮城県水産技術総合センター 宮城の水産業や海洋環境を学ぶ

受入可能人数 最大40人程度

所要時間 1時間半程度

宮城県沿岸域を含む三陸沿岸海域は、寒流と暖流の影響を受ける複雑な海域で、「混合域」と呼ばれています。この海域は暖水性と冷水性の両方の魚介類が来遊する世界的にも豊かな漁場でもあります。この恵まれた海域で営まれている水産業や海洋環境の理解を深めます。【職員による講話:30分～1時間・施設見学:30分】

■受入可能期間／通年(平日、事前予約制) ※月1回程度の対応となります  
■料金／無料 ■該当市町村／石巻市

### 38 特定非営利活動法人 海の自然史研究所 海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)を学ぶ

受入可能人数 最大40人程度(プログラム1回あたり)

所要時間 約1時間半～3時間

海洋リテラシー(理解し活用できる能力)を育む、自然科学・環境学習となる室内体験プログラムです。子どもたちの学習機会においては発達段階に応じた内容を提供し、また大人の研修機会としても活用できます。海の多様な要素(海流・生態系・生物多様性・温暖化・海洋汚染など)にフォーカスして、海の保全と持続可能な活用を、実体験やゲームのアクティビティを通して楽しみながら考える内容となっています。

■受入可能期間／通年、休業日:火曜日 ■料金／1,500円(1人・税別)～プログラムによって異なる※リモートや出張での事前授業も可能です(旅費・郵送代別途) ■該当市町村／南三陸町(南三陸・海のビジターセンター) 石巻市(石巻・川のビジターセンター) ※出張も可

### 40 おしかホエールランド 牡鹿半島沖に生息する鯨類を通して宮城県の海と海洋生物への理解を深める

受入可能人数 最大20人まで

所要時間 60～90分

館内に展示してある全身骨格標本を材料に、鯨類の体のつくりについて学びます。その後、牡鹿半島に漂着した小型ハクジラ類(イルカ)の骨の標本を使い、実際に標本の組み立て作業を行い、鯨類の体の仕組みを通して海洋生物への関心を高め、海洋への理解を深めます。

1. 鯨類についてのレクチャー:15分  
2. 館内に展示している骨格標本の観察(解説を含みます):15分  
3. 実際の鯨類標本を用いた骨の組み立て作業:30分～1時間程度  
■受入可能期間／通年、休業日:水曜日(水曜日が祝日の場合は翌平日)  
■料金／無料※入館料は別途必要です ■該当市町村／石巻市



さんみらい多賀城・復興団地

41

新たな価値を創造する防災・減災拠点

受入可能人数 応相談(概ね20人以上から)

所要時間 60分～

東日本大震災で大きな被害を受けた多賀城市が、その経験を活かして造成した「さんみらい多賀城・復興団地」。災害時には一時的な避難場所機能や物資の提供を発揮し、また被災した企業が操業を継続できるよう立地企業による被災企業への支援機能を有します。造成した経緯を説明した後、立地企業や、被災時に備蓄品や支援物資の発送拠点等となる「さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)」がある団地内を歩きます。

■受入可能期間／平日10:00～15:00※ただし、業務の都合により希望に沿えない場合があります。 ■料金／無料 ■該当市町村／多賀城市



仙台大学附属明成高等学校 食文化創志科(塩竈市浦戸野々島白菜採種圃場)

42

「伝統の食文化と松島白菜の採種文化の保存活動」について学ぶ

受入可能人数 5～30人

所要時間 120分～(島内での活動)

仙台大明成高校食文化創志科では、2011年の秋から震災被災地である塩竈市の浦戸野々島にて「松島白菜の採種文化の保存活動」に取り組んでいます。同校の生徒らが地域との協働で進める地域伝統の食文化資源を活用したこの「新しいふるさとづくり」の活動も11年目を迎えました。食の学びの島にお越しいただき、自然と人との関わりから生まれる食の「豊かさ」を体験してください。

■受入可能期間／通年(事前予約制) ■料金／資料代として300円(別途 塩竈市営汽船往復乗船料1,100円)※昼食などの手配や食文化交流授業も可能です。■該当市町村／塩竈市



せんだい環境学習館 たまきさんサロン

43

多くの本や様々な講座を通して環境について学ぶ

受入可能人数 140人まで

所要時間 60分程度～

せんだい環境学習館たまきさんサロンは、東北大学青葉山新キャンパス内にある仙台市の環境学習施設です。環境に関する図書(約3,000冊)や様々な講座を通して、環境について学ぶことができます。たまきさんサロン(または東北大学講義室)で受けることができる講義には以下のようなものがあります。



1 世界の水問題

人の生活には水が不可欠です。例えば、飲み水は1人当たり1日2～3リットル必要ですが、お風呂、トイレ、炊事、洗濯などには1人当たり1日200リットル以上使われています。これだけ大量の水をどのように準備しているのでしょうか？私たちの暮らしや身近な例を題材に、世界の水問題を解説します。

2 川の生き物に関する授業

広瀬川の環境や、広瀬川をはじめとする宮城県の河川に生息するサケやアユ、サクラマスといった川魚の生態や、釣り方などの利活用方法を紹介します。また東日本大震災で被災した、仙台市沿岸域の野生メダカの保全の取り組みについても紹介します。

3 生物多様性ってなあに

生物多様性の意味や、生物多様性保全(生物多様性を守ること)がなぜ大切なのかを説明します。また、仙台市の生物多様性の大切さを知っていたかくための取り組みを紹介します。仙台にゆかりのある生きものの姿を通して、その魅力や大切さを感じてみませんか？

■受入可能期間／受講を希望する講座によって異なりますので、ご相談ください

■料金／市内団体は原則無料(市外団体は応相談)

■該当市町村／仙台市

仙台七夕まつり協賛会

44

仙台七夕まつりの歴史と今を学び持続可能な地域の祭りを考える

受入可能人数 15人程度※要相談

所要時間 60～120分※要相談

伊達政宗公の時代から続く伝統行事として受け継がれる仙台七夕まつり。まつりにかかわる地域の人々との対話を通じて、まつりを様々な観点から学び、仙台七夕まつりや自分たちの住む地域の祭りを未来へと継承することの大切さ、そのためにはどういったことができるかを考えます。【座学・インタビュー・体験】

■受入可能期間／通年 休業日：土・日・祝 ■料金／無料(但し、体験の内容によっては別途諸経費がかかる場合があります。) ■該当市町村／仙台市



八木山動物公園フジサキの杜

45

自然環境を守るために、動物たちから学び考える

1 動物園での保全活動を通じて宮城の自然を学ぶ

受入可能人数 30人程度

所要時間 ①1時間～1時間半程度(八木山動物公園) ②1～2時間程度(蕪栗沼・化女沼)

当園が取り組んだシジュウカラガン羽数回復事業を通じて、宮城県が国内でも有数の渡り鳥の飛来地であることを知り、地域の自然環境の大切さを学びます。また、野生動物の生息地とつながりを持ち、身近な自然を守るために自分たちにできることを考えます。

①八木山動物公園での活動 【座学・フィールドワーク(見学・観察)】

②蕪栗沼・化女沼での活動 ※大崎市との連携となります。(ガイドブックP.32参照) ※参加者が当園での活動後に実際に生息地に赴くことにより、学習効果が高まります。

■受入可能期間／10月中旬～2月中旬(八木山動物園での活動単独の場合は通年)、休園日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・年末年始を除く ■料金／無料※別途入園料が必要となる場合があります ■該当市町村／仙台市・大崎市



2 動物が自然界で担う役割と自然界のサイクルを学ぶ

受入可能人数 30人程度

所要時間 全3回 各回2時間～2時間半

陸上で最も大きな哺乳類であるアフリカゾウ。彼らの住むアフリカの森では、ゾウが大量の植物を食べ、移動した先でその種が糞に混じって出てくることで新しい芽が生えてきます。この自然界でのサイクルを体感するため、動物園にいるアフリカゾウの糞で作った堆肥を利用して野菜を育て、育てた野菜をアフリカゾウに与えます。一連の体験をとおして、アフリカゾウが自然界で担っている役割や、ゾウの生息数が減ることによる影響について学ぶと同時に、動物を保全することの意義について考えます。【座学・フィールドワーク(堆肥作り)※野菜畑は参加される方がご準備ください。プランターでも可】

■受入可能期間／通年(先着順のために要問合せ)、休園日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・年末年始を除く ■料金／無料※別途入園料が必要となる場合があります ■該当市町村／仙台市



3 スマトラトラを絶滅から救う取り組みについて学ぶ

受入可能人数 30人程度

所要時間 1時間半～2時間(プログラム45分)

世界には絶滅の危機に瀕している動物がおり、その多くは人間の活動による影響で数を減らしています。スマトラトラを例にとり、どのような原因で絶滅に瀕しているのかを紹介し、絶滅危惧種を救うために私たちにできることを一緒に考えます。また、動物園は「種の保存」という役割を担い、希少動物を繁殖させ数を増やす取り組みを行っています。繁殖が難しい動物に対してどのような試みを行っているのか、また人工哺育の実際についても紹介します。日本から離れた遠い場所に生息している動物に私たちが及ぼす影響と、私たちができることについて考えます。【座学・フィールドワーク(観察および解説)】

■受入可能期間／通年(先着順のために要問合せ)、休園日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日)・年末年始を除く ■料金／無料※別途入園料が必要となる場合があります ■該当市町村／仙台市



一般社団法人ReRoots

46

10年後の農業は持続しているのか？食を支える農村の未来を考える

受入可能人数 30名・80名程度(会場は周辺施設を利用、施設定員による)

所要時間 75～210分

東日本大震災の津波被害を受けた仙台市若林区沿岸部。大学生が中心となって、被災地が直面する課題と向き合い、地域づくりにチャレンジする事例を学びます。「復興のシンボル」である稲わらを活用した作品づくりを体験し、課題解決にかかわる人たちの思い、農作物を生産する価値や努力、自分たちの住んでいる地域の魅力や課題を発見し、未来を見据えた社会づくりを考えます。【基本：座学・体験】【オプション：荒浜地区の視察(90分)】

■受入可能期間／年末年始・お盆以外※会場利用施設が休業日の場合は他の施設でも可 ■料金／400円(1人) ■該当市町村／仙台市



宮城教育大学防災教育研修機構(311いのちを守る教育研修機構)

47

震災教訓を伝え継ぎ、未来の地域づくりを活かす

受入可能人数 最大80人(応相談)

所要時間 1時間30分～

場所は本学キャンパス内か沿岸被災地等(応相談)

東日本大震災の被災地にある教員養成大学として、震災の経験・教訓の伝承に取り組んでいます。プログラムでは、大学教員による講義や地図等を用いた防災演習、被災地での学習を振り返るワークショップ等を行い、災害に強い持続可能な社会づくりのあり方をローカルとグローバルの視点で考えます。

【座学：30分・ワークショップ：60分(応相談)】

■受入可能期間／応相談 ■料金／別途相談 ■該当市町村／仙台市



宮城大学太白キャンパス

48

持続可能で安定した食産業について学ぶ

受入可能人数 10～15人

所要時間 120分程度

「食べること」は、私たちにとって最も基本的に必要な行為であり、大いなる楽しみでもあります。その「食べること」を支える食産業の、SDGs時代にふさわしいあり方を考えていきましょう。【座学：50分・圃場や施設の見学：40分・ワークショップ(参加者意見交換・討論)：30分】

■受入可能期間／通年(ただし、学生の試験期間中及び学内行事実施日を除く。その他、入試対応のため対応できない場合があります。) 休業日：土日祝日 ■料金／基本無料 ■該当市町村／仙台市



みやぎの震災・防災・減災学習

41 命のらせん階段(旧阿部家住宅)

電話 0226-46-2442

メール minamisanriku@kanyo.co.jp

https://www.mkanyo.jp/

(株)阿部長商店の創業者の元自宅にある外付けのらせん階段は、1960年5月のチリ地震の津波で多くの人を失った事を教訓に、東日本大震災の4年前に地域住民が屋上を避難場所とできるよう設置された。日頃から避難訓練を行っていた結果、震災当日は約20名の命が救われたことから「命のらせん階段」と名づけられた。

■期間／通年 ■時間／9:00～17:00(要相談) ■料金／バス1台5,000円

■休み／無休 ■住所／気仙沼市内の脇2丁目133-1



せんだい農業園芸センター みどりの杜

49

「みどりの大切さ」を知ろう

受入可能人数 5～60人程度

所要時間 50～90分

「せんだい農業園芸センター みどりの杜」は都市からほど近い公園施設でありながら、多様な自然環境や農業環境を目にすることができます。また、東日本大震災被災地(津波被災地)でもあります。園内をガイドと共に散策しながら、自然と人との交流拠点である公園の在り方や、震災後の経過の一端について学ぶことができます。【座学：約15分・フィールドワーク(園内散策：約35分、農業・園芸体験(要相談)：約40分)】

■受入可能期間／通年、休業日：月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)、年末年始 ■料金／要相談 ■該当市町村／仙台市



宮城県農業高等学校

50

高校生が紡ぐICTを使用した被災地語り部

受入可能人数 40人程度

所要時間 1～2時間

タブレットとスマホを利用した次世代紙芝居により分かりやすい語り部を行います。

①あなたにとって大切な人 ②生き残る事の大切さ ③身近で起こりうる災害 ④防災の発表の順で探究学習を行えるプログラムになっています。防災について自ら考え学ぶことはもちろん、自分の意見を伝えることを身に付けることができます。

■受入可能期間／土日祝日または夏休みなど、生徒の授業に影響がない日 ■料金／無料 ■該当市町村／名取市



有限会社 竹鶏ファーム

51

卵に違いつてあるの?から見る、生産者と土地の顔

受入可能人数 10人まで

所要時間 30～60分

当たり前前に存在している卵も、土地資源や餌のこだわりを持って生産されています。竹鶏ファームの名前の由来にもなった「竹・竹炭」のお話を通して「鶏」「農業」「環境」「食」について一緒に考えます。【座学・ミニ体験(卵の食べ比べ、または竹炭の効能を体感いただけるミニ実験)】※鶏舎見学は鶏インフルエンザ対策で禁止のため映像か口頭で案内。

■受入可能期間／通年 ■料金／体験料として500円 ■該当市町村／白石市



42 高野会館

電話 0226-46-2442

メール minamisanriku@kanyo.co.jp

https://www.mkanyo.jp/

東日本大震災当時、スタッフの判断により327名の高齢者や近隣住民と犬2匹の尊い命が救われた震災伝承施設。当時の地上レベルや津波浸水高を実感でき、屋上からは南三陸町の復興状況を一望できる。これまで皇室関係者、官僚等をはじめ国内外から35万人以上の人々が来館し、自然災害の脅威や防災減災の大切さを伝えている。

■期間／通年 ■時間／8:00～17:00(要相談) ■料金／バス1台5,000円

■休み／無休 ■住所／南三陸町志津川字汐見町32-1

